

一般社団法人つくば青年会議所 2017年度 理事長所信

第35代理事長 山関 重人

【～はじめに～】

つくば青年会議所は、1983年2月6日に筑波学園青年会議所として創立されてから35年という節目の年を迎えます。これまで多くの諸先輩方が築き上げてこられた歴史と伝統を継承し40周年、50周年へと向けて成長していくためには一人ひとりが責任と自覚を持って行動していく必要があるのです。

私たちの街つくばは、「西の富士 東の筑波」と称される日本百名山の一つである筑波山を擁し、筑波山から連なる緑豊かな自然と景観は人々に心の安らぎを与えています。また、2005年に開業したつくばエクスプレスにより街の発展が進み大きく変化を遂げてきました。豊かな自然と歴史に育まれながら科学を融合した街として発展した一方で、中心部以外に目を向ければ過疎化、少子化による学校の統廃合が進み、地域間格差が広がっているのが現実です。急激な街の発展と、過疎化等により人間関係の繋がりが薄れつつある昨今は決して良い傾向ではないと考える。そんな今だからこそ、人としての思いやり・人との繋がりを大切にして、明るい未来に向けて進んでいきます。

【関東地区大会をつくばで】

本年は関東地区大会を主管するにあたり、主管益・地域益・参加者益・主催者益を考えなくてはなりません。つくばにとって関東地区大会の主管は24年ぶりとなり、現在活動するメンバーの中に当時の事を知る人がいないのはもちろん、このような大きな大会を経験している人も少ないのが現状です。まずは、つくばの自然・科学・国際等、多種多様な文化を発信するために、各々が一つひとつ考えを積み上げ、多くの対話と交流が生まれる事で一人ひとりの自信と成長に繋がります。それこそが5年後、10年後も地域に必要とされる組織へと変化する源泉となるのです。そして、つくばから茨城を変えるべく、茨城各地の魅力をつくばから発信します。市民が家族で楽しめ、笑顔になれる事業を展開することで、青年会議所運動を多くの人に知っていただくこととなり、関わる全ての人がこの地域に目を向ける意識が変化し、つくばが更に大きく成長すると考えます。また、関東地区大会を主管する青年会議所として、一人ひとりが「おもてなしの心」を持って行動し、関東地区協議会の運動が最大限に発信出来るようにしてまいります。

【35周年 歴史と伝統の継承～そして新しい歴史を～】

青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現に向けて行動することであり、その実現に向けて諸先輩方は35年という年月を掛けて様々なことを紡いでこられました。そして、

今やつくばJ Cの大きな事業の「The 祭 in TSUKUBA」ねぶたパレード、「ツール・ド・つくば」の立ち上げ、つくばJ Cカップ移管等、多くの歴史を作り地域の発展のために貢献し寄与してきました。その歴史と伝統を私たちは継承していかなければなりません。一方で、近年はつくばの商業の中心であった西武百貨店の撤退、中心部以外の発展の伸び悩みがあり街の賑わいが減ってきているように感じます。時代の流れだから仕方がないという事は決してありません。私たちが改めて地域に目を向け直し、さらなる地域の経済効果、発展、賑わいにつながる新しい運動や事業を通して、地域再生を目指す必要があるのです。

歴史と伝統を振り返り、感謝の気持ちを持ち、良きものは引継ぎ、新しい風を吹き込み40周年、50周年を見据えて行動し進んでいきます。

【環境を考える】

私たちつくば青年会議所は、つくば市きれいなまちづくり実行委員会と連携し環境美化運動を実施してまいりました。しかしながら、不法投棄、ポイ捨て、落書きは一向に無くなりません。それは、私たちやつくば市、関係諸団体だけが環境美化運動を行っても現状を変える事は出来ません。つくば市に住み暮らす皆様の巻き込む運動展開を継続し、環境美化に対する意識を持ってもらう事こそが必要となります。そして、私たちは日常の中で当たり前に使っているエネルギーの事をもっと大切にしなければいけません。昨今は、地球規模の環境変化による、地震や竜巻、豪雨など自然の脅威が増え、いつ何が起きてもおかしくない現状があります。エコというツールを通して地域の人に、エネルギーの大切さを少しでも身近なものと考え、知っていただける事業を開催する必要があります。

【交流グループ】

個々の力が集結する事がJ C運動の原動力になります。多くのメンバーが集まる事でJ C運動の推進力が強化され、私たちの住む地域の「明るい豊かな社会」の実現に向けて運動が展開される事でしょう。そして、地域の事を真剣に考え共に行動する仲間が増えればきっと地域が変わると考えます。仲間同士で交流を図る事で友情の和を広げ、人として成長する機会が得られます。また、近年は女性が社会において活躍しているのを多く目にします。そんな女性メンバーを多く拡大する事は、考え方を多様化させ、様々な角度からのものの見方やアイデアを生み出し、メンバーが今よりもさらに成長出来る組織へとなっています。

「The 祭 in TSUKUBA」ねぶたパレードは、今年で20回目を迎えます。20周年の節目に今一度これまでの歴史を振り返ると共に、諸先輩方・関係諸団体の皆様への敬意を忘れてはなりません。つくば市は住みやすい街に発展してきております。しかし、私たちが誇れるものは何かと聞かれてもなかなか見つからないのが現状ではないでしょうか。本年は、まつりという舞台を通して、私たちが住み暮らす街を誇りに思え、笑顔が輝き、つくばのPRIDEを感じられる「The 祭 in TSUKUBA」ねぶたパレードを行ないます。

そして、まつりに参加した人、見に来た人たちが、今後自らが参加し、さらには市民自らが主体となるような「まつり」に変革させていくことこそが、地域の良き誇りと感じ、地域の発展に繋がられる人になると考えます。

最近、自分が良ければそれで良いという、悪い意味での「義理人情」が強く感じます。そんな時だからこそ、誰でも気軽に楽しめるスポーツというツールを使い事業を構築する事により、メンバー同士の繋がりを強める事が出来ると考えます。共に行動する仲間として、お世話になった方に恩返しをする「報恩の精神」、思いやりや気遣いを持てる人へと変化する事が、一人ひとりの成長に繋がり、魅力溢れる組織になると考えます。

【街・人づくりグループ】

私たちの住み暮らすつくばには「西の富士 東の筑波」と称される霊峰筑波山が存在し、自然は人間が支配する物ではなく、共存していく地球の仲間だという事を実感させてくれます。近年、登山ブームにより登山客は増えてはいますが、観光客の伸び悩みという問題があります。そのつくば市の貴重な観光資源とその周辺地域の観光促進をしなくてはなりません。本年度で9回目を迎える「ツール・ド・つくば」も観光促進・健康増進を目的に開催してまいります。10回大会に向けて新たな形の取り組みを取入れ、より発展させ、飛躍する事で筑波山周辺地域の活性化に繋げる必要があります。

近年、子どもたちは学校に行き、朝・昼・夜と食事をし、普通に生活出来ている事を当たり前と思っているのではないのでしょうか。人の文化を、想いを、脈々と受け継いでいくためには親が自分の事よりも子どもの将来を想い、仕事をし、大切に育ててくれている事を知り、感謝をしなくてははいけません。そして、次世代を担う子どもたちがその背中から想いを感じ取り、感謝の気持ちを持つ事だけでなく、自立し、将来その背を超えることが出来る助力となる事業を開催する事で今よりも成長した子どもへと必要があるのです。

【専務グループ】

専務グループは周囲への思いやりを大切にし、会員の運動展開を支えると共に、LOM運営の細部にまで目を配り行動していかなければなりません。組織運営を検証し、より発展した組織運営を心がける必要があります。

一般社団法人格の取得から5年目を迎える本年も、財務総括幹事会議を開催し、公益社団法人格取得も視野に入れて公益事業比率50%を維持し、会計の適正運用、費用対効果・公益性の確認を行います。そして、財務総括幹事会議を通して一人ひとりが成長出来る場となる必要があります。

私たちの運動展開をホームページ、SNSを利用する事で効率よく地域の皆様に発信してまいります。つくば青年会議所はLOMの垣根を越えて多くのメンバーが出向先で頑張っております。その出向者への支援・協力のために、各種大会・諸会議では参加推進に努

めなくてはなりません。また、分かりやすく、把握しやすいスケジュール管理も行います。さらに、永年に亘り活躍されてきた卒業生に礼を尽くし、盛大且つ思い出に残る事業を開催します。

組織の要であるために、スムーズで効率的な諸会議の設営及び運営を心掛け、会員への迅速情報伝達を行い、組織の原動力として運営を行う必要があります。そして、会員と共に進化する強い組織の要へと成長していきます。

A S P A C 誘致を総会決議してから毎年ブースを出展してきました。ブース出展で得られるものは多くありますが、それよりも多くのメンバーがA S P A Cに参加し、経験してもらえる方が多くの事を得られるのではないかと考えます。参加し経験した事をつくばに持ち帰り、更に多くの人に伝播すれば新しい形の誘致に繋がるはずです。

一人ひとりが楽しみつつも素晴らしい事業を達成させる高い意志を持って頑張ってください。

【結びに】

成功して得られるもの、失敗して得られるものは多くあります。

青年会議所運動を行っていくうえで、成功して得られるものは沢山ある。失敗して得られるものはもっと沢山ある。だから、失敗を恐れて同じことを無難に行う事では何も得られない。一人ひとりが思いをぶつけ、挑戦してほしい。それが成長への一歩となるのだから。

一人ひとりが楽しみ、笑顔溢れる事で、家族・会社・友人に対し、思いやりや気遣いを持つ人へと成長し、個々が「つくばPRIDE」を持って行動し未来を変える一歩を踏み出しましょう！！